



高校野球地方予選や 山口県知事選挙開票速報の ネット配信サービスについて

2018年2月6日

yab 山口朝日放送



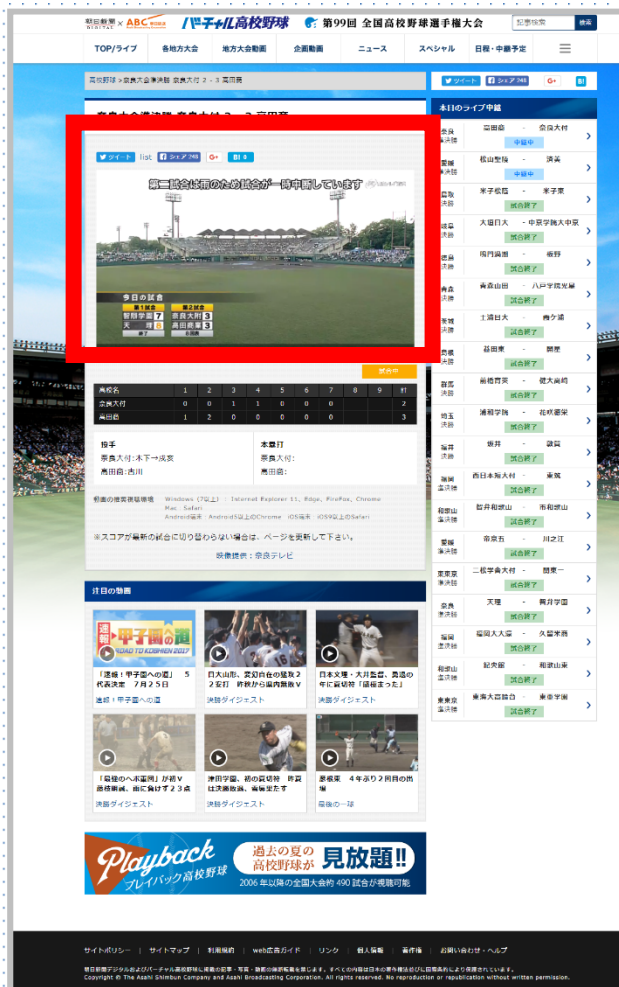
- 「全国高校野球山口大会」
インターネット配信について
- 「山口県知事選挙開票速報」
インターネット配信について



【高校野球ネット配信】 実施概要

- 2017年夏の高校野球山口大会の、
準々決勝～決勝戦まで計7試合の実況中継を、
プレイボールからゲームセットまでインターネットで配信。
- 朝日新聞社とABC朝日放送のサイト
「バーチャル高校野球」で視聴可能に。
 - ※「バーチャル高校野球」・・・高校野球の試合中継動画を中心に、
組合せ表、試合結果、チームや選手のデータなど、
様々な情報を掲載。

【高校野球ネット配信】 「バーチャル高校野球」サイト画面



【中継映像視聴画面】



【全国の試合結果画面】

【高校野球ネット配信】

なぜ高校野球をネット配信したのか？

- 他地区では、1回戦からネット配信に取り組んでいる放送局あり。
山口朝日も3年前は「準決勝・決勝」、それ以降「決勝戦だけ」ネット配信。



- 2018年夏の高校野球は100回記念大会。
主催者側から、1回戦から決勝までネット配信して欲しいとの要請あるかも・・・。



- 「今年（2017年）から準備しておく方が良いのでは？」
 - ・スタッフに経験を積ませる。
 - ・事前に課題や問題点を洗い出せる。



- インターネットでの配信に挑戦してみることに・・・

※2017年は準々決勝から配信。大会2日目にはシミュレーションを実施。



【高校野球ネット配信】 実施にあたっての課題

□球場の現場スタッフの休憩時間が確保できない！

- ・テレビ中継のみ・・・テレビで編成できない「全国ネット番組放送中」や「放送時間終了後」は、現場スタッフの休憩時間に充てられる。
- ・テレビ放送+ネット配信・・・**テレビ放送していない時間も、ネット配信用に画作り・実況・解説を継続せねばならず、休憩できない！！**

□経費負担が増加する！

- ・スタッフの人件費 etc・・・



【高校野球ネット配信】 課題の解決策

□ひざ詰めで調整（現場制作スタッフの負担に関する交渉過程）

制作：「炎天下でスタッフが休憩できないと健康面で不安だ」

編成：「ネット配信のみの時間は、スタッフが交代で休みながら対応できないか？」

制作：「それではクオリティが保証できない」

編成：「テレビ放送とネット配信とで、番組のクオリティに多少の差が出て、少々失敗しても構わない。ネット配信番組は解説なし、実況なしでも良い。極論だが、カメラ1台でボールを追うだけでも、固定カメラで試合の様子を、引きで映すだけでも良い。とにかくテストケースとしてやってみよう！」

制作：「……。せっかくやるなら、テレビと同等のレベルの番組をネット配信したい！」

□知恵を絞って費用を軽減

カメラ台数を減らすなど調整したり、できる限り工夫して経費を上げないように。

かつては1日に4試合を中継していたこともあった。今は最大で3試合。



【高校野球ネット配信】 配信結果

- バーチャル高校野球へのアクセス数・・・20万以上の視聴回数。
 - ・男：女=7：3
 - ・P C：スマホ=55：45・・・スマートフォンからのアクセスが予想以上に大きい。
 - ・女性の年代別では、F2が3割、F1・F3がそれぞれ2割強、TEENが2割弱。

- 視聴者からの反応
 - ・県内の大学に通う学生から「授業中にスマートフォンで視聴した」との声も・・・。

- ネット配信独自の収入・・・ほんの少し。

- テレビ視聴率
 - (データ少ないが) 例年と大差なし。
 - ネット配信と共食いになって、テレビの視聴率が下がることはないのでは？

- 社内に一体感と自信
 - 編成と制作スタッフに「やればできる」「次はどのように工夫するか」という共通の認識？



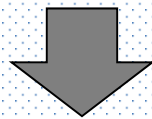
【高校野球ネット配信】 今後の課題

□スタッフの情熱や番組クオリティの面で、
現実との「バランス」や「割切り」も必要。

・炎天下の中継のため体調を崩すスタッフも・・・。

□収益よりも費用が多くかかってしまう。

・ネット配信で儲ける仕組みを模索しないと・・・。



□100回記念となる、2018年夏の高校野球山口大会の
インターネット配信について検討中。

・理想は、1回戦から決勝戦まで、県内4球場全てから配信したいところだが・・・。
気合と根性だけでは乗り切れない。



【県知事選挙開票速報】 実施概要

□配信時間：2月4日(日) 19時55分～21時

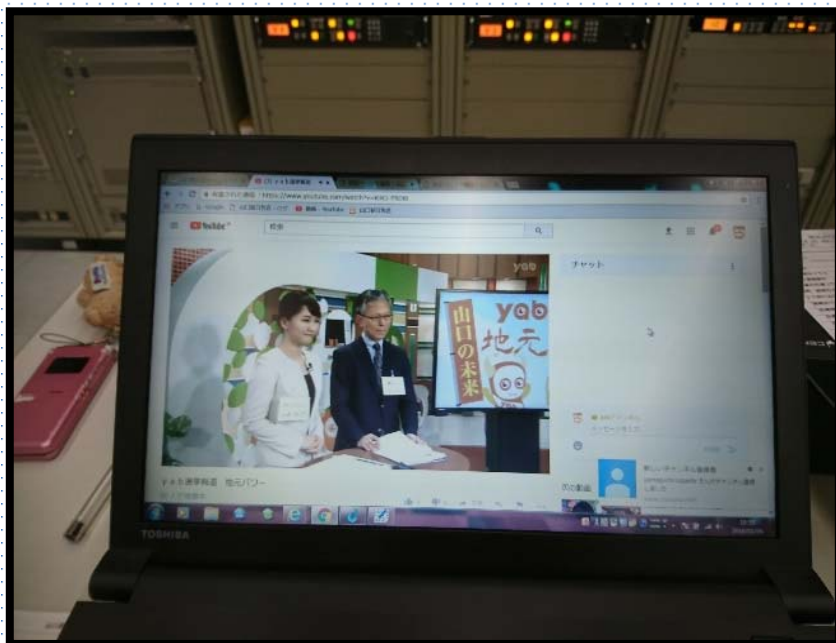
□視聴方法

- ①山口朝日放送ホームページ上の特設ページで配信
(YouTubeライブ配信機能を利用)
- ②ニコニコ生放送でも配信

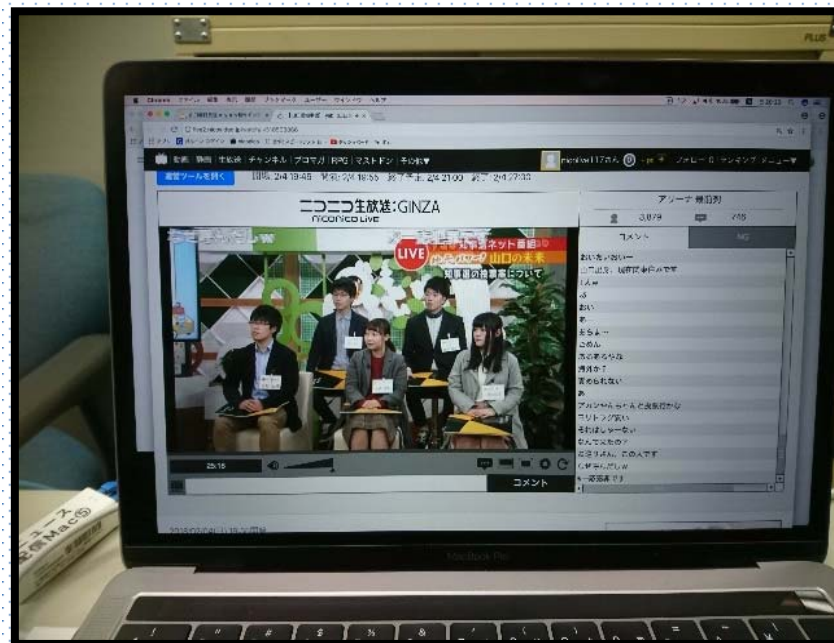
□番組内容

今回は選挙権年齢が18歳以上となって初の山口県知事選挙。
県内の大学に通う、将来を担う学生5人がスタジオから生出演。
「山口の未来」をテーマに、自由に意見を述べたり、当選者に質問するなど、
地上波とは一味違う、新しいスタイルの選挙番組。
司会者・レポーターには、学生に感覚・年齢に近い若手女性アナウンサーを起用。

【県知事選挙開票速報】 ネット配信の様子



【弊社特設ページでの配信】



【ニコニコ動画での配信】



【県知事選挙開票速報】 なぜネット配信するのか？

- 災害報道など有事に備えた訓練の一環として。
- 開票時間が全国ネット番組の編成時間であり、ローカル番組をテレビ放送内で編成できないが、インターネットなら配信できるため。
- 若者への訴求を狙ったため。
選挙権が18歳に引き下げられて初めての山口県知事選挙。「テレビを見ない」と言われる若年層が、どのくらい関心を持ち、反応してくれるかを知る試み。

【県知事選挙開票速報】 番組宣伝について

配信番組の宣伝方法

- ・ローカル番組内で、選挙の話題を取り上げた際に、アナウンサーがコメント等でPR。
- ・通信社や県庁へ情報をリリース。
- ・専用twitterを設け、県知事選挙や番組に関する情報を発信すると共に、当選者に対する意見を募集するなど、宣伝だけでなく、視聴者からの意見を取り込む等、番組との連動も図った。
- ・左のポスターを制作して、配信番組に出演予定の学生が在籍する県内の大学構内などに掲示してもらった。





【県知事選挙開票速報】 実施にあたっての課題

□負荷の問題

- ・人員（スタッフ要員）の問題
- ・番組制作にかかる手間の問題

□社内調整の問題

- ・新しい試みへのアレルギー。
- ・営業的な収益は？
- ・ネット配信番組について、テレビ番組内では大々的な宣伝はやりにくい。
テレビでの配信番組の宣伝がターゲット（若者）に届かない恐れも・・・。



【県知事選挙開票速報】 配信の結果など

□配信結果

- ・視聴回数は 約9,000回（YouTube：約700回、ニコ動：約8,300回）。
- ・YouTubeでは、スマホからのアクセスが、PCからの約3倍。
- ・ニコニコ動画への書き込みは、概ね好意的な反応が得られた。

□負荷に関する問題解決策と反省点

- ・報道現場は、予想したほどの負荷はかからず。
- ・編成は、初めての作業のため、事前調整と通信テスト等で負荷がかかった。
- ・もう少し積極的な宣伝をしても良かったかも・・・。
- ・配信番組内で、地上波放送への誘導をするべきだった。

□社内調整の問題解決策など

- ・編成が音頭を取って、報道・営業・技術など社内各部署を巻き込む。
- ・営業的には、今後につながるアプローチに活用できた。
- ・スタッフは再度チャレンジする意欲を見せている。

【まとめ】



ローカル局にとってのネット配信

□ビジネスとして成立するのか？

- ・すぐに儲けるのは難しいが、テレビ放送とは異なる収益源が開拓可能。
- ・インターネットに対する知識習得やビジネスモデル構築が必要。

□権利クリア等の負担を軽減できないか？

- ・著作権の関係から、番組演出に制約がかかる。
- ・権利処理をより簡単にできないか？

□まずは挑戦しないと・・・。

- ・インターネット配信なら山口県外在住の人にも見てもらえるチャンスがある。
- ・やってみないと、データも入手できないので、成否の判断の材料も入手できない。
- ・地上波放送の編成時間の限界を超えて、視聴者にローカル情報を届けられる。

ご清聴ありがとうございました。